



景百延幌

撮影者/山下 智昭

初冬の川



幌延市街地の夜景



ナナカマド



まちのうごき

男	1,422	(-2)
女	1,399	(+4)
計	2,821	(+2)
世帯数	1,276	(+2)

(平成16年11月末日現在)

※()内は前月比



わが家のエンジェル

村上 瞬之介くん
しゅんのすけ

(平成16年4月2日生・宮園町)
お父さん 貴紀 さん
お母さん トモ子 さん



最終に「こやかな表情を崩さなかった瞬之介くん。カメラを向けても臆することなく、満面の笑みで答えてくれました。」

若杉 翔也くん
しやうや

(平成16年4月3日生・宮園町)
お父さん 忍 さん
お母さん 明美 さん



とても落ち着いた雰囲気。気が印象的な翔也くん。あまり物事に動じないようで、静かな微笑を浮かべてくれました。」

酒井 理志くん
まさし

(平成16年4月26日生・一条北一)
お父さん 健 さん
お母さん 葉子 さん



「こ機嫌斜めだったのが今にも泣き出しそうだった理志くん。でも、頑張ってかわいいた顔を向けてくれました。」

ほろのべの裏窓

■新年あけましておめでとござい
ます。2005年酉年がスタートし
ました。昨年は大型台風の直撃や日
本各地における地震など、印象の良
くないニュースが多かったように思
いますが、今年が良い年になるとい
いますね。

■さて、今月は人権作文コンテスト
についてです。今回「美は人選され
た小林さんの作文を読ませていたた
く機会がありました。テーマが人権
ということで、障害を持つ人達との
ふれあいを基に書かれていましたが
中でも特に「自分にできることを考
えたり、思ったりするだけなら誰で
もできるけど、実行するのは難しく、
勇気のいること」という一文にはと
ても感心しました。

■そして「障害を持つ人の役に立ち
たいと思ったことはあったけど、今
も実行できずにいる」とも書かれて
いました。でも、自分が感じたこと
を作文として残すことも一つの前進
だと思えます。文章にすることで思
い立つこともありますからね。です
から、今回、賞に入れなかった人た
ちも、作文を書いたということをも
自分にとってプラスにしてほしいもの
だなあと感じました。

■ちよつと偉そうな内容になってし
まいましたが、これは自分自身にも
向けた言葉です。心機一転、気を引
き締めて一年を過ごし、来年は更
にいい年を迎えられるように頑張りま
しょう。って、鬼に笑われそうです
ね。

● 広報誌へのご意見 ご要望をお寄せください ●

振興課企画広報係 ☎ 5-1111 【内線】223・224



この広報誌は、資源保護のため再生紙を利用しています。

平成17年1月 発行/天塩郡幌延町
企画編集/振興課 企画広報係 ☎ 5-1111 (524) 印刷/坂野印刷株式会社
幌延町ホームページアドレス http://www.town.horonobe.hokkaido.jp
メールアドレス webmaster@town.horonobe.hokkaido.jp